

荒川区議会議員 「体は細いが、芯は太い。」

清水ひろし

からの手紙 マンション管理士

ゆいの会(無所属)



令和 6 (2024) 年 新年度予算号
第 104 号

荒川区新年度予算が発表され、一般会計は 1219 億円、今年度比 7.5%増の過去最大規模となります。2/15 から始まる 2 月会議には新年度予算、今年度補正予算（6 回目）等が審議されます。今号では新年度始まる充実施策等について掲載致します。

何の数字？
10 基金

新年度の主な事業 —不登校支援、認知症施策を充実へ—

—子育て・教育・文化—

- 小学校英語教育の充実・・・外国人英語教員参加授業を週 1 回実施へ。
- 不登校児童生徒への対応・・・別室登校児童生徒への登校サポートスタッフを新規配置。フリースクール等に通う児童生徒に対する授業料（2 万円/月）を補助。
- 学童クラブのお弁当給食実施・・・夏休み等の期間においてお弁当給食を全学童クラブにおいて開始。
- 小児インフルエンザワクチン接種費用助成・・・接種費の助成対象者を拡大する。
- 図書館機能の充実・・・電子書籍の導入。3 か所目となる図書返却ポストを南千住駅に設置へ。



—医療・高齢者福祉—

- 認知症施策の推進・・・個人賠償責任保険に区が契約して加入。徘徊対策として二次元コードを配布。
- 補聴器購入助成の対象者拡大・・・対象者の所得要件を廃止。
- 介護サービス人材確保支援・・・今年度から実施のケアマネジャーの資格取得や研修の費用補助を継続するとともに、介護職員の宿舍借り上げ費用の助成を行う。
- がん治療に伴うケア助成・・・ウィッグ等、がん治療によるアピアランスケア（外見変化に対するケア）に関する費用助成。



—防災・街づくり—

- 避難所開設キットを導入・・・誰でも避難所開設が出来るよう、手順を示したキットを避難所に配置へ。
- 私道の安全対策・・・交通の妨げとなっている電柱の移設経費を全額補助。照明灯の LED 化を進める。

—区施設—

- 荒川遊園スポーツハウス・・・令和 9 (2027) 年 2 月リニューアルオープン。
- 町屋地区ふれあい館・・・町屋 3 丁目に令和 9 (2027) 年度開館。
- 児童発達支援センター・・・たんぼぼセンターを改修中。今年秋頃開設。
- ふるさと文化館・南千住図書館・・・令和 9 (2027) 年度リニューアルオープン。
- 荒川遊園子どもプール・・・昨年の運営をもって廃止。令和 10 (2028) 年度に新施設開園。
- 荒川自然公園交通園・・・令和 10 (2028) 年 4 月リニューアルオープン。
- 生涯学習センター及び教育センター・・・今年 6 月から給排水設備改修しトイレを洋式化。来年 3 月完了。



介護保険料、後期高齢者医療保険料ともに値上げへ

来年度は、介護保険料（3年ごと）と後期高齢者医療保険料（2年ごと）が改定され、両保険料とも値上げとなります。

●介護保険料（基準年額）

第8期（令和3～5年度）	第9期（令和6～8年度）
77,760円（6,480円/月）	83,040円（6,920円/月）

* 保険料は所得により15段階に分かれている。第5段階が基準額。

●後期高齢者医療保険料（平均年額）

令和4・5年度	令和6年度	令和7年度
104,842円	110,156円	112,535円

* 令和6年度は激変緩和策を講じる

荒川公園に本庁舎建替えへ サンパール荒川も移転・建替え検討

区役所本庁舎建替えにあたり、新庁舎の建設地について荒川公園を最適地とする考えを区は示しました。

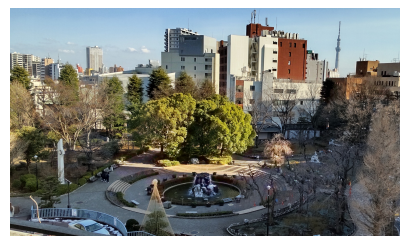
あわせて、隣接するサンパール荒川についても老朽化が進んでいることから、現庁舎跡地への移転整備も含めて検討に入ることとしました。

* 本庁舎は昭和43（1968）年、サンパール荒川は昭和50（1975）年竣工。

あら BOSAI 2024 開催



日時：3/2（土）10時～14時
場所：荒川公園



新年度予算概要 —基金・区債は減少—

区分	令和6年度	今年度比増減額・率
一般予算	1219億円	85億円・7.5%
国保特会	238億円	3億円・1.4%
後期高齢者医療特会	56億円	0.4億円・0.7%
介護保険特会	193億円	2億円・0.8%
合計	1706億円	90億円・5.6%
基金残高	371億円	△87億円
区債残高	154億円	△8億円

歳入 特別区税は、定額減税の影響、ふるさと納税による14億円減収も想定し、今年度比7億円減の191億円。一方、特別区財政調整交付金は固定資産税や法人住民税の堅調な推移もあり、21億円増の458億円と見込まれています。

歳出 分野別では、福祉や子育て等の民生費が51.1%を占め623億円、教育費はタブレット端末の更新、峡田小校舎増築もあり48億円増の153億円、土木費は三河島及び西日暮里の再開発補助の影響で35億円増の105億円となっています。

何の数字？ 10基金：荒川区の基金の数。基金は、自治体が特定の目的のために条例に基づいて積み立てているお金で、自治体の貯金にあたる。現在は①財政調整 ②特別区債等管理 ③災害対策 ④義務教育施設整備 ⑤産業振興 ⑥公共施設等整 ⑦健康・福祉 ⑧スポーツ振興 ⑨芸術文化振興 ⑩介護保険給付準備。新たに庁舎整備基金を設置する条例案が提案されており、11となる予定。

清水啓史（48歳 昭和50（1975）年5/7日生 卯年 A型 おうし座）

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。
平成19（2007）年 荒川区議選初出馬初当選。現在5期目。無所属。マンション管理士。

荒川区議会では文教・子育て支援委員会理事、若者支援・健全育成調査特別委員会委員長、議会運営委員会理事。会派「ゆいの会」幹事長。家族は妻と娘（中3）、トイプードル（チョコ）



〒116-0013 荒川区西日暮里2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail info@shimizuhiroshi.com